

令和5年度 保護者アンケート結果

流山市立長崎小学校

【全校】

No.	項 目		5	4	3	2	1	計	平均
			とても そう思う	そう思う	ふつう	あまりそう 思わない	そう 思わない		
1	教職員は、子どもの話をよく聞いて相談にのり、思いや考えを理解しようと努めている。	回答数 回答率	88 24%	167 46%	93 25%	13 4%	4 1%	365 100%	3.9
2	教職員は、間違った行動に対して厳しく指導をしている。	回答数 回答率	58 16%	177 48%	102 28%	27 7%	1 0%	365 100%	3.7
3	教職員は、お互い協力して子どもの指導に取り組んでいる。	回答数 回答率	53 15%	172 47%	117 32%	18 5%	5 1%	365 100%	3.7
4	お父さんは、学校へ行くことを楽しみにしている。	回答数 回答率	104 28%	129 35%	98 27%	24 7%	10 3%	365 100%	3.8
5	お父さんは、進んで挨拶のできる子に育てている。	回答数 回答率	46 13%	145 40%	126 35%	41 11%	7 2%	365 100%	3.5
6	お父さんは、学習内容を身につけている。	回答数 回答率	54 15%	156 43%	125 34%	23 6%	7 2%	365 100%	3.6
7	お父さんは、家庭学習の習慣が身についている。	回答数 回答率	41 11%	123 34%	125 34%	61 17%	15 4%	365 100%	3.3
8	お父さんは、読書に親しむようになっている。	回答数 回答率	55 15%	76 21%	89 24%	103 28%	42 12%	365 100%	3.0
9	学校は、手紙などを通して教育方針や学校の様子などをわかりやすく伝えている。	回答数 回答率	25 8%	133 44%	105 35%	33 11%	8 3%	304 100%	3.4
10	学校は、学力向上をめざしてわかりやすい授業を行っている。	回答数 回答率	17 6%	128 42%	135 45%	21 7%	2 1%	303 100%	3.5
11	学校は、道徳的心情（生命尊重、思いやり、規範意識、社会ルール等）を育てようとしている。	回答数 回答率	31 10%	159 52%	99 33%	12 4%	2 1%	303 100%	3.7
12	学校は、体力向上に向けて体育的活動を積極的に行っている。	回答数 回答率	39 13%	162 53%	82 27%	19 6%	1 0%	303 100%	3.7
13	学校は、子どもが活動するのに適した環境である。	回答数 回答率	51 17%	166 55%	70 23%	14 5%	1 0%	302 100%	3.8
14	学校は、子ども達一人ひとりの特性に応じた配慮や支援をしている。	回答数 回答率	31 10%	116 39%	111 37%	37 12%	6 2%	301 100%	3.4
15	学校は、保護者・地域との願いを受け止め、連携して教育活動に反映するように努めている。	回答数 回答率	26 9%	146 49%	114 38%	10 3%	3 1%	299 100%	3.6
16	学校は、保護者が参加・参観できる学校行事や授業参観等の機会を適切に設けている。	回答数 回答率	62 21%	190 63%	43 14%	6 2%	1 0%	302 100%	4.0
17	学校は、家庭への連絡を適切に行い、問題や課題に対して速やかに対応している。	回答数 回答率	53 18%	135 45%	80 26%	26 9%	8 3%	302 100%	3.7
18	保護者は、教育活動（授業参観・懇談会、PTA活動、学校行事、奉仕活動等）に積極的に参加している。	回答数 回答率	18 6%	125 42%	130 43%	25 8%	3 1%	301 100%	3.4
19	保護者は、学校からの依頼やお願いに対して協力的である。	回答数 回答率	14 5%	119 39%	152 50%	15 5%	2 1%	302 100%	3.4
20	保護者は、学校やPTAからのお知らせ等の配布物に目を通している。	回答数 回答率	46 15%	168 56%	77 26%	8 3%	2 1%	301 100%	3.8

【考察】

アンケート結果については、それぞれの回答への割合の他、とてもそう思う（5）、そう思う（4）、ふつう（3）、あまりそう思わない（2）、そう思わない（1）と数値化し、平均値する方法をとっています。

（1）～（3）については、教職員の姿勢についての設問です。「そう思う」が半数程度占めていますが、「ふつう」が3割程度、否定的な回答も1割未満ですが存在しています。本校では、学年担当制、教科担当制の体制をとり、より多くの教職員が子供たち一人一人に係る体制を整え、協力しながら子供たちの指導にあたってきました。今後も、子供たちの言葉にしっかりと耳を傾け、学年担当を軸に、全教職員が一丸となり、子供たちのよりよい成長に向け、子供たちの指導にあたっていきます。

（4）～（8）については、お子さんに対する設問です。「進んで挨拶ができる」については、児童アンケート同様、全体平均より低い評価となっています。学校では進んで挨拶するよう指導しています。ご家庭でも「おはよう」「ありがとう」「おやすみなさい」などのやり取りができるよう引き続き声かけをお願いします。ご家庭や地域の協力を得ながら、引き続き挨拶の大切さを指導していきます。「家庭学習の習慣」については、肯定的な回答が半数程度いる反面、2割程度の保護者が家庭学習に取り組んでいないと回答しています。一定数、家庭学習に取り組んでいない児童がいることが分かりますので、今後も、家庭と連携しながら家庭学習の定着につとめていきます。「読書に親しむ」については、昨年同様、肯定的な回答が他の設問に比べて低くなっています。学校では、学校図書館司書の活用、図書館便りの発行、学年毎のミニ図書館、ボランティアによる読み聞かせ等、本に触れる機会を意図的に作ってきました。しかしながら、その取組が、家庭での読書を含めた児童の読書習慣に十分につながっていないようです。今後も、様々な学習の場面で、本に触れる機会を増やしていきます。

（9）～（17）については、学校の取組に関する設問です。「わかりやすい授業」については、児童の8割近くが肯定的な評価を得ていますが、保護者については肯定的な回答が約5割、残りの5割が普通と回答しており、児童と保護者の評価に3割程度の乖離が見られます。教職員は、日々、児童の学力向上やわかりやすい授業の実施に向けて教材研究や授業力向上に努めています。今後も研鑽を積むとともに、授業参観や面談等をとおし、保護者の皆様に授業の様子や授業に向けての取組について知っていただく機会を設けていきます。「一人ひとりの特性に応じた配慮や支援」についてもやや低めの評価となっています。より一層児童理解に努め、一人一人の困り感や状況に寄り添った指導をこれからも心掛けていく必要があります。「教育方針や学校の様子などをわかりやすく伝えている」については、5割以上の肯定的な評価があるものの、全体平均と比較し、低い評価となっています。各種だより、ホームページ及びメール配信にて、教育活動の様子や学校の取組についての発信を行っており、ホームページも日々多くの閲覧をいただいております。そのような中、メールだと見づらい、連絡の内容が分かりにくいなどのご意見をいただいております。読み手に伝わりやすい情報発信の必要性を感じています。今後も、読み手にわかりやすく伝えることを心掛けながら情報発信を行っていきますので、学校の教育活動の様子や学校の取組を知っていただければと思います。「学校行事や授業参観」については、8割以上の肯定的な回答を得られています。アフターコロナの状況下、地域や保護者の方にご参観いた

だけの行事の機会を増やしてきたことが要因として考えられます。今後も、児童の活躍を保護者の方に見ていただけるよう、様々な参観の機会を設けていきたいと思ひます。

(18)～(20)については、保護者自身の評価です。「教育活動への参加」「学校からの依頼やお願いに対し協力的」については、評価が低くなっています。児童の成長には、学校と家庭が両輪となって連携していくことが重要でず。学校でも、保護者の皆様に御参加・ご参観いただく場を設けたり、適切な連絡を心掛けたりしていきますので、保護者の皆様にも引き続きご協力いただき、児童のために連携体制を強化していけたらと思ひます。